

医会からのメッセージ

医会のポリシー

このページは、医会のホームページからの転載です。ご一読ください。

皮膚科医の方へ

会則にもありますように、われわれの医会は神奈川県内で診療や研究などに従事する皮膚科医が中心となって組織されています。すでに会員として様々なアクティビティーに参加されておられる方とは、引き続き「ともに学び、ともに楽しむ」医会ライフをエンジョイしましょう。例会などに参加されない会員には事情がおりでしょうし、神奈川県におられながら未入会の皮膚科医は当医会の存在をご存じなかったのかもしれませんが。学問にとどまらず、実地診療で遭遇するさまざまな疑問や問題点、さらには一般生活にいたるまで仲間と話し合う場が医会です。情報を交換して、知識を増やし、技術を高め、感性を研く。活動はあくまでも個人の自由意志によるものですが、共に自らを磨き、律する心を養おうではありませんか。

皮膚科以外の医師や歯科医、薬剤師、看護師など医療に従事される方々へ

医会は学術団体であり、皮膚科医の親睦や共益を図るためだけに存在するものではありません。医療を通して社会全般に貢献することをめざしています。皮膚科医のレベルアップを目指した研修機会を設ける一方で、往診をはじめとした在宅医療や学校専門相談医など地域医療にも積極的にかかわっています。さらに、様々な分野からの皮膚科講師派遣要請に応える体制を整えました。看護や介護などの職種からは、「皮膚がQOLを維持する大切な臓器であること」「子供から高齢者まで各年齢に応じたケアの仕方があること」は分かっているが、詳しく具体的に教えてほしい、歯科を含めた他科の医師からは「金属アレルギーなど、原因のみつけ方を教えてほしい」などといった要望が寄せられますが、講師を探せない地域もあるようです。医会では「広報・編集委員会」「在宅医療委員会」「皮膚の健康委員会」を中心に最適な講師を探して派遣いたしますので、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

製薬業界や医薬品流通業界の方へ

法人会員の方々には総会や例会のご案内に加えて、機関誌「神皮」などで医会の活動を報告しています。また、年に3回開催している例会は皆様にとっても有益な内容が企画されていることと思います。共催されるとき以外でも法人会員として遠慮なく参加していただき、医会の活動が、皆様同士や皆様と皮膚科医の共通認識を培う機会になればと思います。また、皆様が開催されるさまざまな講演会や勉強会は重要な生涯学習の機会であり、より有意義なものになるよう企画段階から協力させていただきたいと考えています。

最後に“われわれの活動や考え方”をもっとも伝えたい一般の方々へ

皮膚は肉眼で見える臓器ですから、異常があれば誰の目からも分かります。ということは、何かが起こったときに必要なのは血液などの検査よりも、まず熟練した医師がじっくり詳細に診察することなのです。神奈川県皮膚科医会では、皮膚科医に求められる“眼”を養い、知識を増やし、技術を向上させるための生涯教育に力をいれています。皮膚に何かが起こったときには、迷わず皮膚科医を訪れてください。

皆様に、皮膚のことをもっと知っていただきたいと思います。皮膚は内臓におこった病変を表すことがあり、「内臓の鏡」ともよばれます。皮膚の変化が手がかりになって、重大な内科疾患が発見されることがありますが、なんと内科の症状よりも皮膚症状のほうが先に出ることもあるのです。一方で、全国の高齢者を調べた結果、湿疹や感染症などによる皮膚のトラブルが“QOL”を大きく悪化させているというデータがあります。内からも、外からも、皮膚とは上手に付き合っていただきたいと思います。

医会では市民の皆様は皮膚に関する正しい知識と対策を理解していただくために講演会を開催する一方で、勉強会などに講師を派遣するシステムをつくっています。ご希望があれば適した講師を紹介することが可能ですので、気軽にお問い合わせください。また、寝たきりや介護力の事情から通院できずに皮膚病で悩んでおられる場合は、ホームページの地域別「往診皮膚科医リスト」から探してください。

神奈川県皮膚科医会は、“皮膚のことは皮膚科に任せなさい！”と胸を張って言えるように、新しい知識や技術をはじめとした皮膚科の研修と医療の向上に努めています。そして、生まれてから生涯続く皮膚との付き合いを通じて、皆様の健康生活を応援してゆくために活動しています。